

现の火災爭防運動 11月9日

令和2年度 東京消防庁防火標語



確認安心



作者 菅野 珠加さん

高齢者を火災から守ろう!

近年の住宅火災によって発生した死者の約7割が65歳以上の「高齢者」となっています。ひとり暮らしや 高齢者のみの世帯で多く発生していることから、特に 注意が必要です。

火災を早期に発見してお知らせする住宅用火災警報器や初期消火用の消火器、燃えにくい防炎製品を備えることで、高齢者を火災から守りましょう。



高齢者を火災から守るための3つの対策!

住宅用火災警報器の 定期的な点検と本体の交換をする

- ●住宅用火災警報器の本体 のボタンを押すか、付属の ひもを引いて音が鳴るか定 期的に点検してください。
- ●経年劣化により故障しやすくなるため、設置から10年を目安に本体の交換を行いましょう。



消火器を設置する

- ●消火器による初期消火は被害抑制に 効果があります。
- ●小型・軽量で扱いやすい一般住宅用 消火器もありますので設置しましょう。



防炎製品を使う

●エプロンや寝具類などは防炎製品を使いましょう。こんろの火やストーブから衣類や布団に燃え移り、亡くなる高齢者の割合が高くなっています。





